

高松市立山田中学校 道徳便り 2019



季節が巡り、寒さが一段と厳しくなり始めました。気がつけば、今年もあと1ヶ月となり、2学期の終わりも目前です。

さて、11月は人権月間でした。道徳科でも、道徳の週のテーマを「**緑（人権）**」として学習をしました。山田中学校では「緑」を「いのち」の色としています。さまざまな面から人権について考えることで、自他を大切にすることを育み、よりよい人間関係をつくってほしいと思います

1年生 「心の中の玉」

外見で差別を受けてきたA子が不合理な差別に対する怒りやみんなと協力して差別をなくそうとするA子の姿勢に共感し、自分の身の回りにある不合理な差別や偏見に気づき、それをなくすために自分がどうすべきかを考えました。

- 私は、今日の授業で差別についてもっと知り、差別をしない、させないためには、どうすれば良いかをしっかり考えようと思いました。偏った見方をせず、人には必ずよいところがあると思い、相手の良いところを探していきたいです。自分の心の中の玉が汚れることがないように誰に対しても優しく接したいです。
- つらいことがあっても、他人や家族に八つ当たりなどせず、そのつらいことなどを相談してみたりしたいです。つらいことはつらいと言って素直に言いたいです。差別を受けた人の気持ちも考えて行動したいです。
- 人にどんなことを言われても、どんなに悲しいときでも怒りや悲しみに「心の中の玉」を傷つけないようにしたいです。そして自分がされたからと言って相手に同じことをせずに、相手が笑顔になったら相手の「心の中の玉」を傷つけることはないのです、笑顔になれることをしたいと思いました。
- 今日の学習で自分も差別をしてしまっている時があったなと思いました。差別や偏見をすると相手は嫌な気持ちになります。心の中の玉が怒りや悲しみではなく、勇気や希望の明るくて温かい玉になるためには、一人ひとりが自分との違いを認め合い、偏った見方や考え方をなくしていかなければいけないと思いました。
- 相手の立場になって「もし、自分だったら。」と考えて、良い、悪いとの判断をつければ良いと思いました。言葉や行動、態度に気をつけていこうと思いました。そうすれば、少しでも差別がなくなると思います。どんな理由でもいけないので、なくなるとを願っています。

2年生 「「桃太郎」の鬼退治」

昔話「桃太郎」と、それを鬼の子ども視点から捉えた広告作品とを通して、さまざまな考え方や立場の人どうしが理解し合うためにはどうすれば良いのかについて考えました。

- 私は相手と違う意見になってけんかになったら、相手の話を聞けないと思います。何かけんかしているときはめっちゃその子のことをきらいだけど、仲直りしたら好きに戻っているし、やっぱり相手の話が違って落ち着いて聞くことは大事だなと思いました。
- 今回の学習で、自分の意見を一方的に相手におしつけることでは何も解決しないことが分かりました。お互いが相手の気持ちを考えて意見を聞いて話し合うことが大切だと思いました。
- 意見がそれぞれ違う場面がこれから増えてくると思うけど、相手の思いや気持ちもしっかりと考え、自分だけの意見を通さないことが大切だと思った。
- 桃太郎は小さい時に読んでいたとおり、ヒーローだと思っていたけど裏側には苦しむ、にくむ人がいることが今回分かりました。本当の「めでたしめでたし」はこの話ではできないと思いました。理解し合うには、相手の意見も聞き手にまわって聞き、納得できるようにすることが必要だと思いました。
- いろんな人がいる中で、みんなの思い通りにすることはほぼ無理だと思いました。しかし、それぞれの意見を理解し、尊重することはできると思います。

3年生 「海と空—樫野の人々—」

昭和60年のイラン・イラク戦争の最中、取り残された日本人216名をトルコが救ってくれた。なぜトルコが日本人の救出をしたのかを過去の歴史をひもときつつ、国と国とのつながりや国際理解について考えました。

- 樫野の人々があのときとった行動は今の私だとできない行動であったので、勇気があって感動しました。トルコの人々と日本のようにお互いに助け合える関係っていいと思いました。
- 今だけがつながっているのではなくて、過去があって、今がある。何か一つの行動が未来につながっているのだと思いました。人と人との関わりは、「人」だけでなく、「国」をも動かすのだと思いました。
- 結局、どこにしようと同じ地球上にいる同じ生物です。人間というものは「○○○だから助けてあげない」なんて言っている場合じゃないです。誰であろうと命を助ける。それがこの先、生きていく中で必要な考え方だと思いました。
- 百年以上前の出来事のおかげで、トルコの人に助けられたり、親しくなれたりすることはすごいと思います。国境を越えて人と親しくなることは難しいかもしれないけど、エルトゥールル号の危機を救った樫野の人たちのように、「同じ人間」という考え方をもつことが大切だと思いました。

切り取り線

ご意見欄

お名前

